

平成21年度名護市当初予算

～一般会計総額 26,081,625千円(対前年度比1.0%減)～

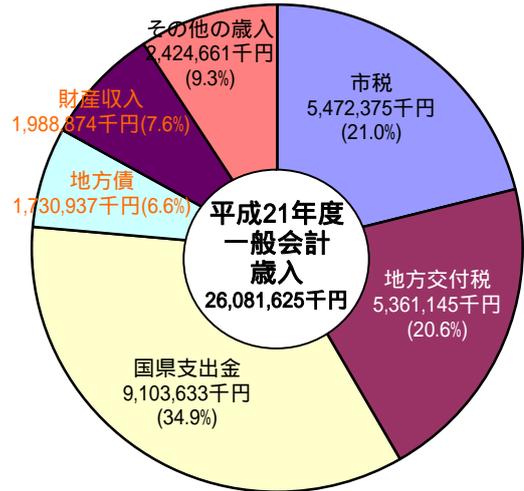
平成21年度の当初予算が、去る3月27日に名護市議会において可決されましたのでその概要をお知らせいたします。

平成21年度の予算の状況について、一般会計当初予算規模は、前年度当初比266,731千円減(1.0%減)の26,081,625千円となりました。

一般会計

歳入予算(単位:千円)

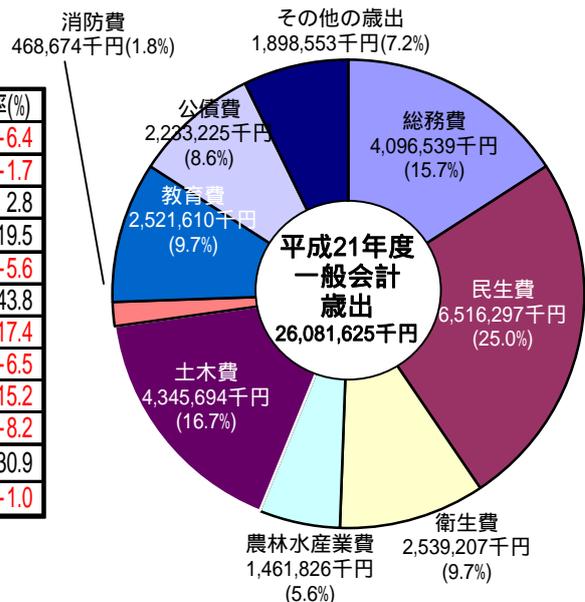
	平成21年度当初	H21構成比(%)	平成20年度当初	比較(H21-H20)	増減率(%)
市税	5,472,375	21.0	5,201,777	270,598	5.2
地方交付税	5,361,145	20.6	5,759,629	-398,484	-6.9
国県支出金	9,103,633	34.9	9,209,369	-105,736	-1.1
地方債	1,730,937	6.6	1,743,959	-13,022	-0.7
地方譲与税	182,727	0.7	199,224	-16,497	-8.3
各種交付金等	971,833	3.7	992,196	-20,363	-2.1
分担金・負担金	362,705	1.4	364,346	-1,641	-0.5
使用料・手数料	617,508	2.4	453,902	163,606	36.0
財産収入	1,988,874	7.6	1,980,113	8,761	0.4
繰入金	55,071	0.2	179,953	-124,882	-69.4
その他	234,817	0.9	263,888	-29,071	-11.0
計	26,081,625	100.0	26,348,356	-266,731	-1.0



歳入については、法人市民税、固定資産税等の増額などにより市税が増となっており、使用料・手数料については塵芥処理費手数料の新設に伴う増、みらい3号館供用開始に伴い使用料で増となっています。また、地方交付税については、税収の伸びと臨時財政対策債への振替額の増が反映されたことにより減となっています。国庫支出金については、北部振興事業の縮減により減となりました。なお、財政調整基金等からの繰入金は前年度より大幅な減となっています。

歳出予算(単位:千円) - 費目別(部門別)

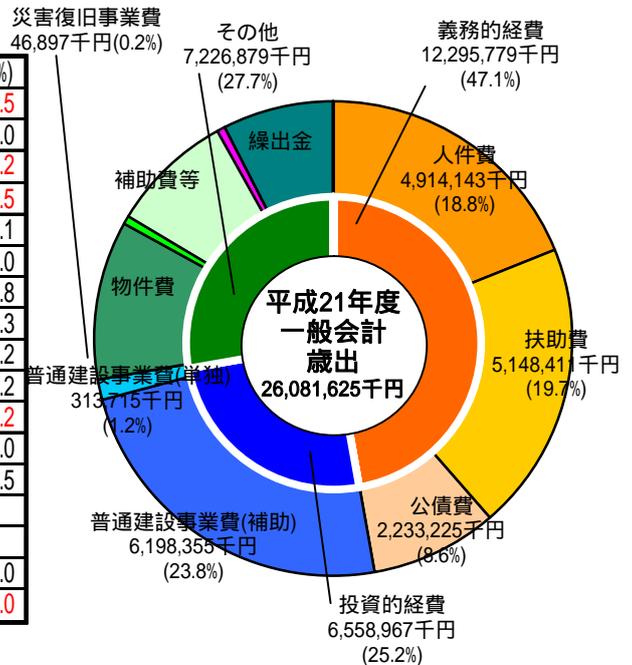
	平成21年度当初(千円)	H21構成比(%)	平成20年度当初(千円)	比較(H21-H20)	増減率(%)
議会費	283,279	1.1	302,541	-19,262	-6.4
総務費	4,096,539	15.7	4,166,067	-69,528	-1.7
民生費	6,516,297	25.0	6,337,157	179,140	2.8
衛生費	2,539,207	9.7	2,124,234	414,973	19.5
農林水産業費	1,461,826	5.6	1,548,272	-86,446	-5.6
商工費	1,502,499	5.7	616,277	886,222	143.8
土木費	4,345,694	16.7	5,259,387	-913,693	-17.4
消防費	468,674	1.8	500,994	-32,320	-6.5
教育費	2,521,610	9.7	2,974,801	-453,191	-15.2
公債費	2,233,225	8.6	2,432,471	-199,246	-8.2
その他	112,775	0.4	86,155	26,620	30.9
計	26,081,625	100.0	26,348,356	-266,731	-1.0



歳出については、まず費目別(部門別)に見てみると、商工費において、北部振興事業に係る普通建設事業費の増が顕著であります。衛生費においてはごみ処理方法の変更に伴う処理委託料、妊産婦健康診査費、救急ヘリ運営補助金等が増額となっています。土木費においては、北部振興事業のまちなか市営住宅建設事業、まちなか市営住宅駐車場整備事業等の建設関連事業の減、教育費では、安和小学校校舎改築事業、稲田小学校屋内運動場新增改築事業が減となっています。

歳出予算(単位:千円) - 性質別

	平成21年度当初(千円)	H21構成比(%)	平成20年度当初(千円)	比較(H21-H20)	増減率(%)
義務的経費					
人件費	4,914,143	18.8	5,040,794	-126,651	-2.5
扶助費	5,148,411	19.7	4,902,215	246,196	5.0
公債費	2,233,225	8.6	2,432,471	-199,246	-8.2
投資的経費					
普通建設事業(補助)	6,198,355	23.8	7,080,020	-881,665	-12.5
普通建設事業(単独)	313,715	1.2	259,076	54,639	21.1
災害復旧事業	46,897	0.2	46,897	0	0.0
その他					
物件費	2,783,147	10.7	2,490,192	292,955	11.8
維持補修費	170,856	0.7	47,690	123,166	258.3
補助費等	2,167,318	8.3	2,099,368	67,950	3.2
積立金	125,210	0.5	99,223	25,987	26.2
投資及び出資金	880	0.0	6,370	-5,490	-86.2
貸付金	10,500	0.0	10,500	0	0.0
繰出金	1,938,968	7.4	1,803,540	135,428	7.5
前年度繰上充用金	0	0.0	0	0	-
失業対策事業	0	0.0	0	0	-
予備費	30,000	0.1	30,000	0	0.0
計	26,081,625	100.0	26,348,356	-266,731	-1.0



次に性質別に見てみます。

義務的経費（使途が義務付けられ任意に削減できない経費）中、扶助費については、生活保護に係る支給費、障害者自立支援に係る訓練等支援費や私立保育所運営費、児童手当給付費等により増になっています。人件費については、職員数の減によるものです。公債費については、平成20年度に国の高金利公債費負担軽減対策として実施された公的資金補償金免除繰上償還を活用したことにより、大幅減となっています。

投資的経費（道路や公園・学校など社会資本の整備や災害復旧等に係る経費で、将来に残るものに支出される経費）については、北部振興事業の縮減等により普通建設事業が大幅減となりました。

投資的経費中の主な事業として、以下のような事業が挙げられます。

学校関連事業

名護幼稚園園舎改築事業、屋部小学校校舎改築事業、安和幼稚園園舎改築事業など

農林水産関連事業

数久田地区用水対策事業、我部祖河むらづくり交付金事業、屋我地漁港海岸保全整備事業、新エネルギー導入緊急対策事業など

道路・交通関連事業

大北市営住宅線道路改良事業、名護52号線道路改築事業、為又1号線・大西線道路改築事業、大西線街路整備事業、外廓線（2工区）街路新設改良事業など

公営住宅関連事業

古我知市営住宅建設事業、親川市営住宅建設事業、呉我市営住宅建設事業、勝山第二市営住宅建設事業など

その他の経費中では、補助費等で、後期高齢者医療広域連合に係る負担金、救急ヘリ運営補助金等により増となっています。物件費については、需用費、使用料及び賃借料などは削減したものの、ごみ処理方法変更に伴う施設管理委託料などにより、委託料が大きく伸びています。

以上が平成21年度一般会計当初予算の概要であります。

今後も引き続き、積極的な歳入の確保、徹底した歳入の見直し・削減を図り、職員一丸となって、市民の視点に立った行財政運営を目指してまいります。

特別会計

	平成21年度当初	平成20年度当初	比較(H21-H20)	増減率(%)
国民健康保険特別会計	7,574,686	7,337,574	237,112	3.2
介護保険特別会計	3,345,774	3,280,615	65,159	2.0
公共下水道事業特別会計	1,286,097	1,402,839	-116,742	-8.3
後期高齢者医療特別会計	345,222	356,247	-11,025	-3.1
老人保健特別会計	62,612	546,986	-484,374	-88.6
第三地区区画整理事業特別会計	377,270	446,627	-69,357	-15.5
計	12,991,661	13,370,888	-379,227	-2.8

水道事業会計

	(歳入)			(歳出)		
	平成21年度当初	平成20年度当初	増減率(%)	平成21年度当初	平成20年度当初	増減率(%)
収益的収支	1,627,021	1,595,880	2.0	1,511,607	1,532,543	-1.4
資本的収支	204,203	479,803	-57.4	586,931	1,201,781	-51.2